



📅 8月・9月の開館予定です(変更になることもあります)

日	月	火	水	木	金	土
10 休館 本校 オーブンスクール	11 休館	12 休館	13 休館	14 休館	15 休館	16 休館
17 休館	18 正〇 共◎	19 正〇 共◎	20 正〇 共◎	21 正〇 共◎	22 正〇 共◎	23 休館
24 休館	25 休館	26 正〇 共◎	27 正〇 共◎	28 正〇 共◎	29 正〇 共◎	30 休館
31 休館	9/1 正〇 共◎	9/2 正〇 共◎	9/3 正〇 共◎	9/4 正〇 共◎	9/5 正〇 共◎	9/6 休館

開館時間

正 (正道館学習室) 共 (共生図書館)
〇7:00~17:00 ◎9:00~19:30 △8:30~17:00

8月15日は終戦記念日です

「**峠三吉**」さんの原爆の詩を抜粋します

にんげんの にんげんのよのあるかぎり

くずれぬへいわを

へいわをかえせ

📖 1学期 多く読まれた本

- 1位 『セルフィの死』(本谷有希子・著) 自意識と承認欲求から生まれた姿をあぶり出す。セルフィとは自撮りの意。
" 『近畿地方のある場所について』(背筋・著) 映画化もされた大人気作品。読むと背筋が凍る怖さを経験。
- 2位 『天久鷹央シリーズ』(知念実希人・著) ドラマ化され、人気はさらに加速。天久医師の人間力は魅力。
- 3位 『謎の香りはパン屋から』(土屋うさぎ・著) 2025年「このミス大賞受賞作」。パンの良い香りが漂ってきます。
" 『成瀬は天下を取りにいく』(宮島未奈・著) 2024年「本屋大賞受賞作」。自己肯定感が高まる物語。
- 5位 『頭のいい人だけが解ける論理的思考問題』(野村裕之・著) 思わず挑戦したくなる問題が満載。
" 『カフネ』(阿部暁子・著) 2025年「本屋大賞受賞作」手料理を介しての絆、シスターフッドが感動的です
" 『薬屋のひとりごとシリーズ』(日向夏・著) 厚い文庫本ですが、物語に入り込める独特の世界観が魅力。
" 『決定版 数学のすべてがわかる本』(科学雑学研究倶楽部・編) 奥深く深遠な数学に1歩2歩近付けます。
" 『決断』(大胡田誠、大石亜矢子・著) 緑陰祭での講演者・大胡田さんの書かれた感動的ノンフィクション。
" 『四月になれば彼女は』(川村元気・著) 一人の精神科医と二人の女性を軸に描いたラブストーリー。

👑 1学期の多読者(敬称略)

- 🏆 1位 (1-2) Y.T.
🥈 2位 (3-1) T.Y.
🥉 3位 (1-1) K.E.
4位 (3-2) M.Y.
5位 (2S1) Y.I.
" (1-2) K.K.
7位 (5-1) R.A.
8位 (1J2) A.H.
9位 (1J4) H.Y.
10位 (5-2) R.A.

📖 新着本情報 (話題の本を紹介)

『僕には鳥の声がわかる』(鈴木俊貴・著)

著者は世界で初めて動物が言語を話すことを、突き止めた動物言語学を開拓した第一人者であり、東京大学先端科学技術研究センター准教授。知的好奇心に満ちた拍手喝采の1冊。

『ガザ、戦下の人道医療援助』(萩原健・著)

ニュースやSNSでは見えない、ガザ紛争の現実に瞠目した緊迫の13日間の記録です。

『こころのカルテ 潜入心理師月野ゆん』(秋谷りんこ・著)

「潜入心理師」とは人の心の奥に潜入し、「心の糸の絡み」をほどくこと。

『皇后の碧』(阿部智里・著)「八咫鳥シリーズ」の著者が繰り広げる後宮ファンタジー。

『遠い山なみの光』(カズオ・イシグロ著) ノーベル賞作家のデビュー作・9月映画化



📖 今月のNewton情報(2025/9月号)

特集「感動する脳科学 信じがたいほど興味深い脳の話」

頭蓋骨に閉じ込められている脳は、まさに人体のブラックボックスである。腸と脳の驚異的な関係や最先端の脳科学が明らかにする脳の姿などの9つの話題を紹介しています。